



竹田 健人

Takeda Kento

税務職員 平成31年採用

田辺税務署 個人課税部門

簿記会計学の知識を生かし、
自身の成長を実感できる

Question

1

現在の仕事内容について教えてください。

私は個人課税部門に所属しており、適正公平な課税を実現するために税務調査や申告相談事務を担当しています。

税務調査では、申告内容が適正であるかを確認するために、実際に納税者の方の自宅や事業所へ行き、事業内容を聴取して帳簿書類を精査し、必要があれば金融機関や取引先にも赴きます。

また、申告相談では、親切な対応を心掛けています。特に、納税者の方からの質問に対しては、理解を得られるように分かりやすい言葉で説明しています。相談後に、「ありがとう。」と言っていた際には、とてもやりがいを感じます。



Question

2

自分のどんなところが税務の職場に向いていますか。

税務の職場では、簿記会計学の知識を活用する機会が多くあります。

私は、高校生の頃に学習していたこともあり、簿記会計学に長けていることが強みです。

納税者の方に対して説明する場面では、簿記会計学の知識がないと相手の理解を得られないこともありますので、学習していてよかったと実感しています。

また、国の財政を担う使命感や責任感を持ち、仕事ができることに大変やりがいを感じながら職務に励んでいます。正しい申告をしている納税者の方には丁寧に、悪質な納税者には毅然とした対応を心掛けて仕事をしています。



Question

3

休日の過ごし方を教えてください。

休日には、心身をリフレッシュできるように過ごしています。

仕事で高いパフォーマンスを発揮するには、心身の健康が大切ですので、休日は趣味の時間に充てるようにしています。

趣味のジョギングは、適度に汗を流すことができ、とてもリフレッシュできます。最近では、田辺税務署の管内にある海や山の景観を楽しみながら走っています。走り終えた後は自宅でのんびりと過ごし、平日に向けて英気を養うようにしています。



Message

税務の職場に入る以前は、税法の知識もなく、職場で上手くやっていけるかとても不安でした。

しかし、採用後、1年間の充実した研修が整備されていることもあり、税法の知識を習得した上で税務署に配属されますので、税法の知識がなくとも1年間の研修を終えると自身の成長を実感することができます。

税務署に配属されてからも毎日が勉強ですが、上司や先輩職員の指導を受けながら日々職務に励んでいます。また、困った時には周りの人が気軽に相談に乗ってくれるので、安心して働くことができるところが税務の職場の良い点だと思います。

国の財政を担うことに興味がある方は、ぜひ税務職員を目指してみてください。